美しい時代へ――東急グループ

2024年度 東急 子ども応援プログラム

助成先を募集します

1件あたり 50～100万円

子どもたちの幸せを支える
地域の活動を応援します。

子どもは一人ひとり多様な可能性を持っています。
しかし、慌ただしい生活時間や限られた人間関係の中で、可能性の芽がのびのびと育ちにくい環境があり、
さらには、いじめ、引きこもり、家庭内暴力、経済的に困窮する家庭状況や、
不安や困りごとなどを抱えている子どもたちもいます。
地域には、そうした子どもたちをサポートする、家庭や学校以外での大人たちの活動があり、
子どもたちや家族が安全・安心で心豊かに暮らせる生活環境づくりをサポートしています。
このプログラムでは、子どもたち一人ひとりが望む「幸せ」につながることを願って、
皆さまの活動を支援します。

応募受付期間 ： 2023年9月1日（金）～9月14日（木）必着

詳しくはWEBへ　**https://kodomo.tokyu.co.jp/**

TOKYU CORPORATION 東急

現在助成中の活動をご紹介します。

2023年度東急子ども応援プログラムは、13団体へ総額1,250万円の助成を実施しました。

※掲載の活動内容は、応募時のものです。
活動番号 1〜13は団体名称50音順です。
団体名に（★）印のある団体は、昨年からの継続助成です。

1 青葉台みらいクラブ

＜団体名＞ NPO法人
あおば学校支援ネットワーク（★）

子どもたちが他者との関わりを通じた学びを自分の人生や社会に生かそうとする意欲、未知の状況に対応する思考力、判断力、表現力の向上を目指す活動です。地元商店会と連携して地域とのつながりや仕事の楽しさを発見する「子ども商店会」、社会とのより良い関係づくりを図る「社会とつながるカフェ」、地域の大学や企業と連携して課題解決や価値創造力を育む「ＳＴＥＡＭ教育ワークショップ」を行います。

2 〜生きづらさを自分らしく生きる力に〜 未来まちづくりプロジェクト

＜団体名＞ 認定NPO法人 キーパーソン21

さまざまな課題や生きづらさを抱える子どもたちが、自分らしく、わくわくしながら生きる力を育むことを目的に「たまりば×わくわくプロジェクト」と、子どもたちを応援する大人たちに向けたファシリテーター講座を行います。

3 子どもの『非認知能力』育成フィールド「街の小さな自然つくり」

＜団体名＞ NPO法人 グリーンフィールド

子どもたちの非認知能力や五感機能、情操の育成など、人間としての基礎となる力の育成とそのメソッドの構築を目指して、都市の中に生物多様性型の緑地を創出し、植物に触れる体験イベントや「生きものレッスン」などを行います。

4 放課後フリースペース「まい す ぺ〜す」、子育てひろば（赤ちゃんひろば）

＜団体名＞ NPO法人 こあら村

年齢や障がいの有無、性別などに関わらず、地域に暮らす誰もが自由に立ち寄り、好きに過ごし、くつろげる子育て広場の提供を通じて、地域の人がつながる橋渡しをすることを目的に、「赤ちゃんひろば」と「放課後フリースペース（遊び場・学習支援）」を行います。

5 地域で多様な子どもと若者がともに育ち合う場づくり

＜団体名＞ 認定NPO法人 CFFジャパン

多様な子どもが集い、多様な若者が伴走支援することにより、子どもが個々に尊重され、自分（たち）自身で自分（たち）のことが決められる居場所をつくります。学生のボランティアを育成する他、多様な背景を抱えた若者が担い手として社会参画する機会を創出します。

6 子ども多文化交流事業

＜団体名＞ NPO法人 Sharing Caring Culture

外国籍や外国につながる子どもたちが母語や母文化、ルーツに誇りを持てるよう、また日本語の能力や国籍に規定されず社会参加し、個々の能力を地域で発揮できるよう、親子で挑戦する多国籍クッキング、出身国の行事や文化を紹介する異文化交流体験、母語で母国の絵本を読み聞かせする多言語おはなし会を行います。

7 キッズディレクター（楽しいデジタルコンテンツ制作と居場所づくり）

＜団体名＞ NPO法人 ちいき未来（★）

不登校など困難を抱える子どもたちに向け「キッズディレクター」サークルを開設し、映像ワークショップやプログラム学習を行います。自ら創造した作品を社会に発信し楽しむことで自己肯定感を高め、前に進むための居場所となることを目指します。映像関係の学生や教育関係者と連携し、学校のサポーターとしての活動も広げていきます。

8 障害のある子もない子も一緒に。目と手で喋ろう！音で作ろう！耳で見て語らおう!!

＜団体名＞ 一般社団法人 DRIFTERS INTERNATIONAL

アートによる共創活動を通じて障がいのある子とない子をつなげ、多様な視点や気付きをもたらすアートワークショップを行います。使い慣れたコミュニケーション手段以外の方法で創作活動を行うことで、多様性を尊重したコミュニケーション力、発想力、表現力が向上し、障がい児と健常児の格差や分断のない共生社会の実現を目指します。

9 横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト

＜団体名＞ Picture This Japan（★）

言語にとらわれない写真というツールによって、外国につながる子どもたちの生きる力や自己肯定感の向上を目的とした表現活動や居場所の提供、写真展などを行います。オンラインギャラリーが当事者としての目線で運営し活躍できる場となり、子どもたちの作品をロールモデルとして掲載し可視化することで、外国につながる子どもたちの希望となるプラットフォームへと発展させます。

10 子どものための神奈川面会交流促進事業

＜団体名＞ 一般社団法人
びじっと・離婚と子ども問題支援センター

横浜と川崎を全国に先駆けて「面会交流が当たり前」の街にすることを目的に、離別した親子の面会交流に必要な支援をワンストップで提供する総合窓口とウェブサイトを立ち上げ、認知度向上を図るとともに、行政と連携した仕組みづくりを行います。

11 みっけ！愉快な音楽・畑くらぶ：子どもの五感を育むプロジェクト

＜団体名＞ 愉音（★）

子どもたちが音楽への興味を育み、心豊かな時間を持つ機会を創出するものです。音楽と畑をキーワードに、地域全体の幸福感の向上に寄与することを目指し、「みっけ！」たことを言葉で表現する「ハイクで俳句」など、楽しさに出会い成長し、地域の多様な大人たちとつながっていくことを促進するプログラムを行います。

12 生命にかかわる子どもと家族に豊かな時間を届ける

＜団体名＞ 認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト

「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」は、LTCの子どもと家族が自宅や病院以外に過ごせる「第二のおうち」です。このこどもホスピスにおいて、家族との時間を安心して過ごし、豊かな時間を提供する活動を行います。また、生き生きとした子どもたちの写真を通してこどもホスピスの日常を紹介する「うみそら写真展」の開催と講演会の動画配信を行います。

13 子どもの家庭での虐待予防に有効な「ホームスタート」事業の運営

＜団体名＞ ワーカーズ・コレクティブ
子育て応援チームすこっぷ（★）

すべての子どもが親から虐待されることなく健全に育つことを目指し、家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」を行います。育児に不安や困難を抱える家庭一つひとつに丁寧に訪問できるよう認知拡大と運営の安定化、ホームビジターの養成・スキルアップ、世代交代に向けた体制整備も進めます。

詳細はこちら https://kodomo.tokyu.co.jp/support/2023/

プログラム概要

[助成対象となる活動]

子どもを取り巻く社会課題の解決を目指し、子どもたちの幸せを支える地域の活動

[活動例]

1 子どもが安全で安心できる場を提供する活動

- 居場所づくりや子ども食堂などの活動、シェルター活動
- コロナ禍の環境変化により生きづらさを抱えた子どもたちの支援に関わる活動　など

2 障がいや難病とともに暮らす子どもと家族を支援する活動

- 外出支援の活動、入院児の学習支援の活動、きょうだい支援の活動　など

3 外国にルーツを持つ子どもたちの支援や多文化共生を目指す活動

- 日本語学習サポート、進学支援、キャリア教育、
  日常生活に関する情報提供サポート（例「やさしい日本語」の活用）　など

4 子どもの「生きる力※」の向上につながる活動

※ 困難な環境でもしなやかに生きていく力、子ども自ら好奇心を持って考えて行動していく力

- 子どもの主体性を育み、参画を促す活動
- 文化・芸術・スポーツなどを通じて生きづらさや困難を乗り越え、生きる力を育む活動、
  地域や社会を知る活動、自然を体験して遊び学ぶ活動　など（塾や習い事を除く）

5 子どもたちの安全・安心な暮らしを支えるコミュニティーをつくる活動

- 支援者育成、ボランティア育成、ネットワーク支援、普及啓発活動　など

6 その他、本プログラムの趣旨に合致する活動

※本プログラムでは、活動の発展やステップアップにつながる取り組みを期待します。
※本プログラムは2年間の継続助成が可能です。

■ 助成対象となる団体

- 民間非営利団体であること。法人格は問いません
  （特定非営利活動法人、一般・公益法人、任意団体など。任意団体の場合は会則があり、「人格のない社団」の成立要件を満たしていること）
- 助成対象となる活動地域が東急線沿線の市区内※ にあること
  （主たる事業所はそれ以外でも構いません）
  ※ 東 京 都 ： 品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・町田市
  神奈川県 ： 横浜市 神奈川区・西区・中区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
  川崎市 中原区・高津区・宮前区　大和市
- 応募締切日に団体設立後2年以上の活動実績があること
- 団体のホームページやSNSなどで活動や団体概要が公開されていること
- 助成開始後、報告書の提出や報告会などへの出席に同意すること
- 団体の目的や活動が政治・宗教などに偏っておらず
  反社会的勢力とは一切関わっていないこと

■ 助成期間

2024年4月～2025年3月（1年間）

■ 助成額

1件あたりの助成額 ： 50～100万円（合計10件程度に助成予定）

■ 選考方法

選考委員会による書類選考を行います。
選考委員会は、学識経験者、NPO実務経験者、主催企業担当者で構成します。

■ 選考結果

2024年2月末日までにお知らせします。

■ 応募方法

募集要項は
https://kodomo.tokyu.co.jp/ をご覧ください。
応募は、必要書類をメールにてお送りいただきます。

■ 主催

東急株式会社

■ 問い合わせ先

東急株式会社
社長室　ESG推進グループ　東急子ども応援プログラム事務局

Email ： kodomo@tkk.tokyu.co.jp